

「ティーチング・フェロー (TF) プログラム」についての説明

Hirodai TA 制度運営実行委員会・TA サポートデスク

◎ 「TF プログラム」とは

TF プログラムとは、TF として採用された大学院生が、ティーチングポートフォリオ（教育業績書）の作成および授業担当教員による評価を受けることで、学長名の修了証書が授与される特別なプログラムをさします。なお、TF として採用され、通常の TF 実績報告書を提出する場合は、学長名の修了証書は授与されません。

◎TF プログラムのステップ（表1を参照）

1. QTA としての勤務経験、大学教員要請講座の単位取得することで TF 資格を取得
2. TF として採用される
3. TA サポートデスクの支援を受けながら、ティーチングポートフォリオを作成する
4. 授業担当教員は実際の教育活動を参観し、ティーチングポートフォリオの内容を確認の上、TF としての活動に関する評価と今後へのアドバイスを記入する
5. TA サポートデスクにティーチングポートフォリオを提出する
6. 学長名の修了証書の授与

◎TF プログラムの意義

広島大学では、SGU 事業を契機に TA 制度を改革し、三階層 TA 制度 (Hirodai TA) を開始しました。Hirodai TA では、TA を PTA、QTA、TF の三階層に分け、それぞれの権限とそれに伴う研修の要件等を明確にしています。こうすることで、大学院生にむけては教育活動に関わる機会と、それを通じた専門性開発の機会の提供を、授業担当教員にむけては、TA の支援を得ることで可能な授業の展開を可能とし、制度を整備することで広島大学・大学院の教育の質向上に貢献することを目的としています。

中でも、TF は授業担当教員の指導のもとで自立的な教育活動を実施できる立場として設置され、特に大学教員というキャリアを目指す大学院生にとっては、授業の実施を通じて、専門分野に関する理解を深め、教育活動について学ぶ大変貴重な機会となります。

しかし、活動が意識化され、専門性として身につくためには、経験を振り返り言語化するプロセスが重要となります。TF プログラムでは、TA サポートデスクの支援のもと、教育活動を通じた自らの学びを振り返り、言語化する作業、すなわち、教育業績書（ティーチングポートフォリオ）を作成し、TF としての経験が

単なる経験として終わらないようにすることを目指しています。

また、近年、大学教員の公募では、教育活動経験と豊富を求められることが多くあります。ティーチングポートフォリオを作成するは、公募書類作成の準備となります。

◎ 手続きについて

TFを採用する際に、TFプログラムへ参加するか否かについて、TF本人とTFを採用する教員の間で話し合ってください。プログラム参加への有無は、TFとしての活動が始まる前にTAサポートデスクにお知らせください。

⇒ TFプログラムに参加する場合

- ✓ TF本人によるティーチング・ポートフォリオ（以下TP）の作成と提出（TP作成に係る指導やメンタリングなどの支援はTAサポートデスクが行います）
- ✓ TFを採用する授業担当教員によるTFの授業実践の一部参観ならびにTFが作成したTPのチェック。TFプログラム所定のTF実績評価書様式の作成と提出
- ✓ 学長名の修了証書の授与

なお、TFプログラムに参加するものの、TFとして複数科目を担当する場合は、少なくとも1つの科目についてのTPと実績評価書の提出が必須となります。TPの対象とする科目以外の科目については、科目ごとにHirodai TA制度所定の「TF実績報告書」の提出が必須です。

⇒ TFプログラムへ参加しない場合

- ✓ TF本人及びTFを採用する授業担当教員によるHirodai TA制度所定の「TF実績報告書」（科目毎）の提出が必須です。

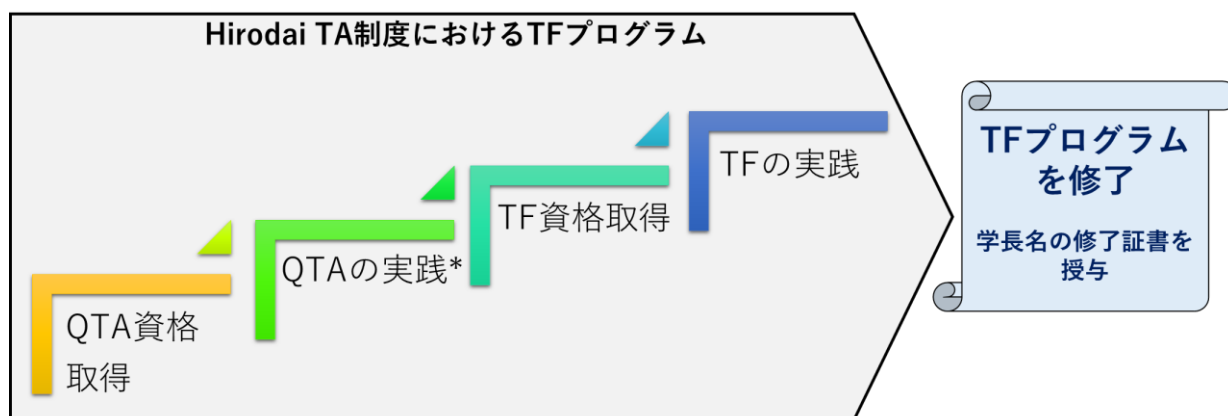


図1 TFプログラムのステップと修了証書授与の流れイメージ図

表1 ティーチング・フェロー(TF)プログラムの構成

順番	研修／実践	内容／目標	評価方法	評価方法の詳細	学長承認のための提出物の状態
1	QTA 資格取得研修会*	<ul style="list-style-type: none"> ・QTA の役割を知る ・教育活動に関する際の留意点 	出席管理	QTA 資格取得データベース	TA サポートデスクで確認したうえ、チェックリストを提出
2	<ul style="list-style-type: none"> ・QTA の経験 ・他大学での TA 経験** ・非常勤講師の経験*** のいずれかを実践	それぞれ	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告書(QTA 経験者) ・教育活動経験証明書(所定様式) 		
3	TF 資格取得プログラム「大学教員養成講座」	<ul style="list-style-type: none"> ・大学教員の仕事を理解する ・学習と教授法の基礎的な理論を理解する ・大学のカリキュラムを理解する ・授業をデザインする ・学びを支援するための手法を知る ・ゼミ・研究室の運営について知る ・大学組織を知る ・専門分野ごとの違いを知る ・省察的实践に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位の取得 ・成績評価 	課題提出の状況と課題の完成度： <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス ・授業案 ・マイクロティーチング ・最終課題(エッセイ) ・授業参加度 	
4	TF の経験	それぞれ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育業績書(ティーチングポートフォリオ, TP)の作成 ・授業担当教員の指導・評価 ・TA サポートデスクの指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業担当教員による授業実践一部の参観+TP のチェックを踏まえて所定様式によって評価 	

* 2016 年度は合計 8 回開催。将来的には、通年かつ単発な研修会の提供も企画している。

** 本学の QTA に相当する TA 経験でなければならない。

*** 専門学校以上の非常勤講師の経験でなければならない